

沖縄労働局長が沖縄県建設業 Safe-Work 運動主唱者合同パトロールを実施しました



沖縄労働局長（宮本淳子）は、7月13日に、沖縄県建設業 Safe-Work 運動の主唱者とともに、横河ブリッジ・福地組特定建設工事共同企業体の「令和6年度小禄道路橋梁上部工（P30～P36）、下部工（P35）工事」現場にて、建設工事合同パトロールを行いました。

現場では、熱中症対策として、ポータブル WBGT 測定器による作業場所ごとの WBGT 値測定に加え、作業員の休憩・水分取得状況を一元管理できるアプリの導入により、的確な WBGT 値の把握及び作業員の休憩等取得管理の双方から取組を行うなど、他の建設現場の模範となる取組がありました。



作業員の休憩・水分取得状況を一元管理できるアプリの説明を受けている様子

重大災害事故根絶の意識付けとして
行っている「安全唱和」について説明を
受けている様子

「安全唱和」は過去に発生した労働
災害を教訓に作成した留意事項であ
り、朝礼時に全作業員で復唱してい
る
そのほか作業主任者の掲示等を確認



塗装業務にて使用する防毒マスクを
確認する様子

防毒マスクの吸収缶を確認する様子





点検表にて吸収缶の交換状況を確認する様子

つり足場にて、墜落・転落防止措置と物体落下防止措置について説明を受けている様子



パトロールの講評を行う宮本局長